発言通告表（一般質問）

令和7年9月定例会

順位	氏名（議席）	発言の要旨
1	遠藤 盛正（22）	<p>1. 公共スポーツ施設の受益者負担の検討について</p> <p>令和6年5月の総務市民委員会協議会において、公共施設の使用料について、これまで受益者負担を原則とする統一的な基準に基づいて設定していましたが、有料の施設と同様の利用実態でありながら、無料となっている施設が存在するなどの課題があるとして、受益者負担の公平性という観点から、無料の公共施設を対象として、新たに受益者負担を求めることについて、整理・検討を行うと示されました。富士川緑地をはじめとして厚原スポーツ公園、東球場、富士川キウイ野球場などの公共スポーツ施設の受益者負担に関し、現在の進捗状況や今後の進め方について、以下、質問いたします。</p> <p>(1) 市内公共スポーツ施設の受益者負担についてどのように考えているのでしょうか。また、新たに指定管理者となった富士市スポーツ施設マネジメントグループは、料金についての打合せに加わっているのでしょうか。</p> <p>(2) これまでの市民利用者は、公共スポーツ施設（富士川緑地等）を無料で利用するのが当たり前という感覚であったと思います。市スポーツ協会や施設を利用する各種団体に対し、市が利用料金を示し、受益者負担について説明する必要があると考えますがいかがでしょうか。</p> <p>2. 富士川緑地の管理について</p> <p>本年度から、富士市スポーツコミッションの本格的な活動が始まりました。また、この4月からは、これまでの公共スポーツ施設の指定管理者が変更になり、富士総合運動公園等の指定管理を行うみんなのふじ株式会社と、富士体育館や富士川緑地等を管理する富士市スポーツ施設マネジメントグループの2つの指定管理者による市内の公共スポーツ施設の運営が開始されています。</p> <p>両指定管理者もスポーツコミッションの一員であると同っていますが、今後、スポーツコミッション事務局とみんなのふじ株式会社、富士市スポーツ施設マネジメントグループの3者がこれまで以上に連携することで、本市のスポーツの活性化が大いに期待されます。</p> <p>そうした中で、富士川緑地の利用者は右岸・左岸を合わせると年間約30万人だと伺っています。今後さらに、富士川緑地の利用が進むことにより、施設の予約や維持管理・修繕は市や指定管理者の大きな負担となり、利用者の増加によるトラブルの対応や、きめ細やかなサービスの提供が求められることになると思います。そこで、以下の内容について質問いたします。</p> <p>(1) 公共スポーツ施設の管理につきましては、以前から提案させていただいておりますが、市内全体の公共スポーツ施設の指定管理とは別に、富士川緑地を独自に管理する事務所、事業体が必要ではないかと思いますが、今後指定管理者との話し合いは予定されているのか伺います。</p> <p>(2) 新たな指定管理者が富士川緑地を管理するに当たり、以前の指定管理者業務仕様書の内容とどのように変わったのか伺います。</p> <p>(3) 今回の民間の指定管理者への仕様書の変更に伴い、指定管理者が行政からの指定管理料以外に、施設利用料などを含めた収益を得る仕組みは検討したか伺います。</p>